

令和8年5月15日部長会議の概要

場 所 政策会議室

出席者 大山副市長、教育長、企画部長、行政経営担当部長、危機管理担当部長、総務部長、市民生活部長、経済環境部長、保健福祉部長、健康づくり担当部長、こどもみらい部長、都市部長兼国県・企画調整担当部長、土木部長、議会事務局長、消防長、教育部長

1 協議事項

- (1) 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部改正について [企画部]

外国人に対する生活保護の措置に関する事務が準法定事務とされたことに伴い、本条例を一部改正することについて協議した。

2 報告事項

- (1) 5月議会全員協議会の報告事項及び市議会6月定例会の市長提出予定議案等について [総務部]

5月20日に開催される5月議会全員協議会の行政報告案件等及び6月3日に招集する6月定例会の市長提出予定議案等について報告した。

- (2) 就業体験（キャリア教育）実習生の受入れについて [総務部]

市の業務に興味・関心のある学生を対象とする就業体験の受入れについて報告するとともに、各所属での受入れについて協力を依頼した。

- (3) 令和7年度広聴事業のまとめについて [市民生活部]

令和7年度の各種広聴事業の実績について報告した。

- (4) プレミアム付商品券事業の進捗状況等について [経済環境部]

物価高騰対策として実施するプレミアム付商品券事業の進捗状況及び今後のスケジュールについて報告した。

- (5) 介護保険条例の一部改正について [保健福祉部]

令和8年度の第1号被保険者の保険料について、特例措置により住民税課税扱いとなる住民税非課税者に対する特例減免を行うため、所要の改正を行うことを報告した。

(6) 新型インフルエンザ等行動計画(案)のパブリックコメント実施結果について[保健福祉部]

4月1日から30日までの期間で実施したパブリックコメントの結果について報告した。

(7) 消防団の力向上モデル事業の活用について[消防本部]

災害対応力の向上、消防団活動の効率化を図るため、消防団の力向上モデル事業を活用し、消防団出動管理アプリを導入することについて報告した。

(8) 6月補正予算の概要について[企画部]

新たに採択された特定財源の活用や、事務事業の執行にあたり必要となる経費等を追加するために行う6月補正予算の概要について報告した。

3 その他連絡事項

(1) 時間外勤務の配当時間について [総務部]

昨年度の各部の実績及び今年度の配当時間について周知するとともに、健康で働きやすい職場環境の実現のため、時間外勤務の抑制に向けた取組の徹底を依頼した。

(2) 外国人住民に向けた傾聴ボランティア制度の開始について [市民生活部]

外国人住民の増加に伴い、市役所での相談対応の円滑化等を図るため、本制度を開始することについて報告した。

(3) 常任委員会所管事項調査について [議会事務局]

市議会常任委員会所管事項調査の日程及び視察先等について報告した。

(4) 新たな防災気象情報の運用開始に伴う市の対応について [企画部]

5月29日から運用が開始される新たな防災気象情報について、主な変更点を周知するとともに、市の対応について報告した。

4 指示事項等

<大山副市長>

- ・ 5月7日から開始している窓口の受付時間変更の試行実施について、窓口業務に従事

する職員は引き続き、丁寧な市民対応を心がけるとともに、時間外勤務の抑制も意識しながら取組を進めること。

- ・ 職員の長時間労働の是正に向けては、各所属において時間外勤務時間の目標を設定し、部長による進捗管理を徹底すること。
- ・ 効果的・効率的な人事配置を進めるため、各所属において職員の業務量等の管理を徹底すること。また、新採用職員の入庁から1か月半が経過し、職場環境に慣れてくる一方で疲れも溜まる時期であることから、モチベーションを維持し、業務に従事できるよう所属長がしっかりと目配りをする事。
- ・ 各所へ情報提供を行う場合は、内容を精査するとともに情報の管理を徹底すること。
- ・ 物価高騰をはじめとする社会変化に対応するため、各事業の実施にあたっては、コスト感覚を持って、適宜見直しを図りながら取り組むこと。
- ・ 事務事業の執行においては、改めて根拠法令等を確認し、適正な事務を徹底するとともに、市民に寄り添うための工夫を凝らすこと。

以 上